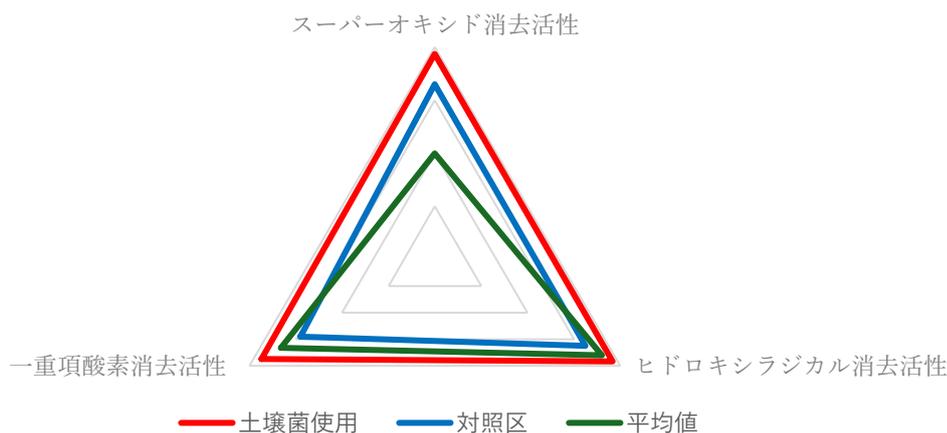


「美里町脱炭素ビジョン」の実現に向けた連携協定に基づく 栽培試験(サツマイモ)結果のお知らせ

当社は「美里町脱炭素ビジョン」の実現に向けた包括連携協定に基づく最初の取り組みとして、2024年5月から埼玉県美里町にてサツマイモの栽培を実施し、MOILの土壌菌を用いた収穫物と用いなかった収穫物で抗酸化力を比較することで特許技術の検証をいたしました。

抗酸化力の測定は三種類の指標(スーパーオキシド消去活性、ヒドロキシラジカル消去活性、一重項酸素消去活性)について行い、いずれにおいても土壌菌を用いた場合に用いなかった場合と比べ数値が上昇したことおよび、測定依頼先であるデザイナーフーズ株式会社のグループが保有するデータベースの平均値を上回ったことを確認いたしました。この平均値は過去に同社が依頼を受けて測定したサンプルの平均であり、基本的に依頼者が抗酸化力を測定する意味があると考えた、優良なサンプルが持ち込まれるため、これを上回ったことは一般的な作物の平均を超える以上の大きな成果であると捉えています。



	スーパーオキシド消去活性 (Units SOD/g)	ヒドロキシラジカル消去活性 (μ mol DMSO/g)	一重項酸素消去活性 (μ mol Histidine/g)
MOIL 栽培	129	1917	187
対照区	110	1624	145
平均値	66.6	1802	166

栽培中の圃場の様子

MOIL 栽培



対照区



また、具体的な計測は行っていない、サンプル保存中の体感的なものですが、収穫時にできた傷から起こるサツマイモの劣化の早さが土壌菌を用いた方が遅くなっていました。

今回の結果により本協定に取り組む各社からも評価を頂くとともに、土壌菌を用いた栽培により作物の抗酸化力が向上することで、摂食時の健康への好影響のみならず、農作物がより日持ちするようになり、流通での負担軽減につながる可能性が示唆されました。

引き続き各種作物の栽培を実施し知見を蓄積するとともに、栽培技術の効果を実証していくことで地域に貢献する事業の構築を目指して参ります。